

## 注意喚起 Oracle WebLogic Server の脆弱性について

～利用者は速やかな対策の実施検討を～

IPA（独立行政法人情報処理推進機構、理事長：富田 達夫）は、Oracle WebLogic Server の脆弱性について、速やかな対策の実施検討を促すため、注意喚起を発表しました。

IPA は、多くの商用ウェブサイトや企業のアプリケーションサーバーの構築に利用されている Oracle WebLogic Server の脆弱性について注意喚起を発表しました。

当該脆弱性ではすでに、攻撃コードが公開されているとの情報や、攻撃の可能性を探索する活動が報告されています<sup>(\*1)</sup>。

また、脆弱性の深刻度を示す CVSSv3<sup>(\*2)</sup> 値では 9.8<sup>(\*3)</sup> と評価されています。CVSSv3 の深刻度は「注意、警告、重要、緊急」の 4 段階に分類されており、当該脆弱性は「緊急」に相当します。よって、当該製品の利用者は速やかな対策の実施検討が望まれます。

当該脆弱性において、CVSSv3 値が 9.8 と評価された要因には次のようなものがあります。

- ネットワークを介して外部から攻撃可能であること
- 認証が不要であり、誰でも攻撃が可能なこと
- 任意のコード実行が可能で、攻撃された場合の影響が大きいこと

対象となる製品のバージョンは以下の通りです。

- ・ Oracle WebLogic Server 10.3.6.0.0
- ・ Oracle WebLogic Server 12.1.3.0.0

脆弱性対策情報の詳細は IPA セキュリティセンターが公開したページをご確認ください。

URL : [https://www.ipa.go.jp/security/ciadr/vul/20190428\\_WebLogicServer.html](https://www.ipa.go.jp/security/ciadr/vul/20190428_WebLogicServer.html)

■ 本件に関するお問い合わせ先  
IPA セキュリティセンター E-mail: vuln-inq@ipa.go.jp  
■ 報道関係からのお問い合わせ先  
IPA 戦略企画部 広報戦略グループ 白石  
Tel: 03-5978-7503 E-mail: pr-inq@ipa.go.jp

(\*1) JPCERT コーディネーションセンター <https://www.jpcert.or.jp/newsflash/2019042601.html>

(\*2) 共通脆弱性評価システム CVSSv3 概説 <https://www.ipa.go.jp/security/vuln/CVSSv3.html>

(\*3) 脆弱性の深刻度は 0（低）～10.0（高）の範囲で表示している。